

船橋 YMCA 通信



No.1 2001年7月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 FAX：(0471)45-3403



創刊ご挨拶

この機関紙は、船橋にもYMCAがあること、そしてどんなことをやっているかを皆様にご理解いただくためのものです。YMCAからの情報発信とともに読者の皆様からの投稿もお待ちしています。地域に根ざしたYMCA活動を発展させるために、今後、隔月でお届けします。

発行人(船橋地域デポ運営委員長) 榎 一光

船橋YMCAは何？

船橋YMCAは、千葉YMCAの3番目のランチとして1991年に設けられましたが、財政的な困難さから1996年にセンターを閉じました。現在は、定常的な組織はなく、日本基督教団船橋教会に船橋YMCAの郵便受けと電話が置かれています。



どんなことをやっているの？

幼児・小学生(登録30名)を対象に、月に1回“わんぱくクラブ”の名称で日帰りのデイキャンプが開かれています。この活動を支えているのは、大学生5名のボランティアリーダーです。

創刊に寄せて

千葉YMCAは、千葉市、柏市、船橋市に組織されています。NPO(非営利団体・組織)という言葉が日本でもよく耳にするようになりました。YMCAは青少年の育成を中心としたNPOです。この通信が船橋・習志野地域でのYMCA運動の広がりにつながるものと期待しています。

千葉YMCA総主事 三橋 和弘

どのように運営しているの？

船橋YMCAの正式名称は、“千葉YMCA船橋地域デポ”といいます。その運営は、一昨年からは30代から60代の男性4名、女性1名、計5名のボランティアの委員により行なわれています。

委員は、みな社会人で、キリスト教信者の人もいれば、そうでない人もいます。

献品のお願ひ

船橋YMCAでは、バザーやフリーマーケットに積極的に対応したいと思っています。これらの売り上げはすべて船橋YMCAの活動費にあてられます。バザーやフリーマーケットで売る商品を募集していますので、ご家庭で眠っているものがありましたら、ぜひ献品をお願いします。ご連絡をいただければ取りにあがりますので、よろしくをお願いします。

品物をご提供願える方は、恐れ入りますが下記的手段で榎(まき)までお知らせください。

TEL 047-476-4700 FAX 047-476-4708

E-mail : kmaki@beige.ocn.ne.jp

船橋Y M C Aの2001年7月から向う1年間の行事予定

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月								
	夏キャンプ実施		夏キャンプ報告会	冬スキーキャンプ参加者募集	車椅子ウォーキングフェスティバル	船橋教会バザー	創立三〇周年記念日	クリスマス献金	冬スキーキャンプ実施	春スキーキャンプ参加者募集	冬スキーキャンプ報告会	野外活動継続参加者募集	3月	春スキーキャンプ実施	野外活動新規参加者募集	春スキーキャンプ報告会	夏キャンプリーダー募集	第五回チャリティーラン	夏キャンプ参加者募集

年間活動はどんな計画？

船橋Y M C Aの年間活動の計画は、上の表の通りです。夏のキャンプと冬・春のスキーキャンプは、千葉Y M C A・柏Y M C Aのキャンプに合流します。表には入れませんでした。野外子供会の“わんぱくクラブ”は毎月1回開催されます。

運営委員はどんな人？

30代から60代の社会人で、男性4名、女性1名です。キリスト教の信者の人もそうでない人もいますが、みんなY M C Aをよいものにしようという熱意にあふれています。運営委員をもう少し増やしたいと思っていますので、興味のある方はご連絡ください。委員のプロフィールは、今後順次ご紹介します。

運営委員長はどんな人？

運営委員長の榎一光(MAKI Kazumitsu)です。私は、千葉Y M C Aの創設期にリーダーをやった者で、千葉Y M C AのなかではリーダーOB第1号として知られています。その後は、会社員として30年ほど仕事を続けてきましたが、50歳になったのを機に、会社人間だけではと思い船橋Y M C Aで再び活動を始めました。

誰が支えているの？

Y M C Aには、Y M C Aの主旨に賛同しその活動を支える協力会員という制度があります。船橋

登録の協力会員は現在22名です。年会費は、6千円から3万円まで4ランクあります。船橋登録の協力会員の数を増やしたいと思っていますので、ご協力願える方はぜひご連絡ください。

チャリティーランを開催

第4回千葉Y M C Aチャリティーランを5月12日(土)に船橋市運動公園で開催しました。300人以上の人々が集い、大会委員長のチャック・ウィルソン氏も駆けつけてくれました。今年は、6人1チームの駅伝に27チームが参加し、今年から始めたペアランには10組の参加がありました。

大会の収益金は105万円に達し、この中から77万円余りが障害のある子どもたちをはげますために使われます。写真は準備体操の様子です。



編集後記

船橋Y M C A通信創刊号は、いかがでしたでしょうか？ Y M C Aの目指すところは、良質な青少年活動を地域に提供することだと思います。(榎)